

# あたたかや

今瀬剛一

開戦日影を落として鳥は飛び

水を飲む嘴まで見えて枯れ果つる

烏瓜取り損なひて乱れけり

十二月骸骨といふ穴だらけ

たまきはる命の福寿草咲けり

立ち枯れの芭蕉といふに似たるかな

はるかより機を織る音雪降れる

歩き疲れて冬蝶に出会ひけり

晩年の母のごとくに着膨れし

ながながと縄引いて行く枯野なり

福寿草てふ沸き上がる色咲けり

あたたかやみんなが笑ふから笑ふ

ともに冬を越えし蠅なり打たぬなり

一人づつ去りて一人の日向ぼこ

濁り酒なら振りて飲め強く振れ

蓮井崇男さんを悼む